

## 日和田山山行報告

【山行日】2023年 10月 1(日) 曇り

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 2,300円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL藤原ト

飯口、飯野、小林、鈴木ミ、福島

【コースタイム】岩舟支所P5:00=一の鳥居

P7:05/7:20=日和田山登山口 P8:10/8:20~

金毘羅神社 8:40~日和田山 8:45/9:00~

物見山 9:35/9:55~北向地藏 10:15~高指山

11:15/11:25~日和田山 11:35/12:10~金毘

羅神 12:15~日和田山登山口 P12:35/12:45

~巾着田 13:00/13:30~日和田山登山口 P13:45/14:00=羽生 PA14:40/15:00=岩舟支所P15:25

今日の山行は会津駒ヶ岳に登る予定だったが、桧枝岐村は雨の予報で中止にした。代替山行として天気が良さそうな山を探し、奥武蔵・秩父方面が晴れの予報なので武甲山~大持山を計画した。



岩舟支所を5:00に出発し国道50号線を足利方面に向かい、久保田の交差点を左折して大泉町から熊谷に向かう。国道140号線を秩父に向かい、秩父市内から国道299を通って一の鳥居の駐車場に車を止める。4年ぶりに訪れたが、超綺麗なトイレが設置され登山者にはありがたい。出発の準備をしてトイレに行くと雨が降ってきた。トイレの軒下で雨宿りし、今後の雨雲の動きを見ると45分後に雨脚が強くなり10時過ぎまで降る予報になっていた。来る途中の道端に彼岸

花が綺麗に咲いていたので、代替地に巾着田の曼珠沙華と日和田山を提案すると、皆さん行きたいとの返事。国道299号線を飯能市に向かい、巾着田入口に着くと駐車場に入る車が並んでいた。日和田山登山口の駐車場に向かい、駐車場に着くとギリギリ端の駐車スペースに止められた。準備を整えストレッチを済ませて出発する。駐車場を出て右に進むと登山口になり、広い登山道を進むと鳥居が立ち、その先で道が男坂と女坂に二分する。左の男坂を進むと沢を横切り、岩場が連続する急峻な尾根を登って行く。雨の後に岩が濡れていたが、慎重に登ればそれほど危険は無い。



岩尾根を登ると高度がグングン上がり、金刀比羅神社に躍り出る。晴れていれば背後に巾着田が



見渡せるが、あいにく霧が掛かり展望は得られない。神社の脇から一登りで、杉林の中の日和田山山頂に着く。山頂には大きな宝篋印塔が立ち、大勢の登山者が休んでいた。山頂から西に下り日向方面への道を左に分け、杉木立の尾根を進むと舗装道に出る。右に行くと高指山へ向かうが、左に進んで物見山に向かった。しばらく舗装道を歩くとトイレや東屋が立つ駒高集落に出て、休憩してトイレを済ませる。道路を少し進むと右の登山道に入り、樹林帯

の急坂を登るとベンチが置かれる物見山に着く。山頂標識の前で記念写真を撮り、リンゴを食べて

休憩する。右奥の杉木立の中に一等三角点が置かれ、三角点をタッチしたら山頂に戻り、西に下って北向地蔵を目指す。道路を歩きヤセオネ峠から登山道に入り、杉木立の尾根道を進むと北向地蔵に出る。小高い山の上に社が立ち三体のお地蔵様が祀られている。お地蔵様をお参りしたら来た道に戻り、日和田山へ向かう。途中、高指山に登り、往路を戻って日和田山に着く。山頂は大勢の登山者で溢れており、皆さん空いている場所でランチタイムとする。お湯を沸かしカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。K 林さんのキンピラや I 野さんのちくわが配られ、美味しくいただいた。



それにしても、これほど大勢の登山者が居るのには驚いた。昼食が済んだら下山開始し、金刀比羅神社に出ると晴れて視界が開け巾着田が見渡せる。ここから女坂を下って駐車場に着き、靴を履き替えたら荷物を置いて巾着田に向かう。舗装道路を下って行き、信号を右折して直ぐに左折し巾



着田入口出る。500円の入場券を購入し、曼珠沙華の群生地を散策する。巾着田は高麗川の蛇行により、巾着の形をした地形に曼珠沙華が群生し、500万本とも言われる日本最大級のヒガンバナの群生地である。今年は残暑に寄り開花時期が遅れ、丁度見頃で素晴らしい。今年は「巾着田曼珠沙華まつり」が10月6日まで延期されるようである。皆さん「エ～凄い、こんなに沢山咲いているんだ！！」と感動していた。500万本の曼珠沙華を堪能したら駐車場に戻り、駐車料金を

入れたら帰路につく。圏央道鶴ヶ島ICから圏央道へ入り、東北道の羽生PAでトイレと買い物を済ませ岩舟支所に向かい、予定より2時間早く岩舟支所に帰着した。